

公表

## 事業所における自己評価総括表

○事業所名	フリースマイル大村		
○保護者評価実施期間	R8年 2月 2日		～ R8年 2月 14日
○保護者評価有効回答数	(対象者数)	41	(回答者数) 17
○従業者評価実施期間	R8年 2月 2日		～ R8年 2月 14日
○従業者評価有効回答数	(対象者数)	6	(回答者数) 5
○事業者向け自己評価表作成日	R8年 2月 25日		

## ○ 分析結果

	事業所の強み(※) だと思われること ※より強化・充実を図ることが期待されること	工夫していることや意識的に行っている取組等	さらに充実を図るための取組等
1	学校休業日には外出し、様々な体験ができる。	粗大運動や文化的活動など、活動が1つの項目に偏ってしまわないように、様々な分野の経験が積めるような内容にしています。	社会資源がそれほど多いとは言えない地区なので、できるだけ多くの施設や季節のイベントなどを調べ、内容が固定化しないように工夫しています。
2	職員の資質の向上を図るために、研修を受講する機会や法人内等で研修を開催する機会を設けています。	決められた研修は必ず行い、専門性のある事業所内研修や事例検討会、ZOOMなどを用いた外部研修などにも積極的に参加しています。	事業所内研修を通して得た情報を通して、今、子ども達にできることをスタッフ間で話し合い、フィードバックしています。
3	業務改善を進めるためのPDCA サイクル(目標設定と振り返り)に、広く職員が参画しています。	終礼や朝礼時に振り返りや1日の流れの確認を行い、情報を共有しています。また、共有した情報をもとに、子供たちに対してどのようにアプローチを行うかや改善を行っていく会議を行っています。	考えが固定化されないように各職種の角度からの意見を参考にしたり、他事業所に意見を求めるなど、できることや行うことの幅を広げていきます。

	事業所の弱み(※) だと思われること ※事業所の課題や改善が必要だと思われること	事業所として考えている課題の要因等	改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等
1	トイレが別の階にあり、死角になっています。	施設の構造上、変えることができない課題です。	受け入れ態勢や職員の配置により配慮をしています。定期的なスタッフからの声掛けや、個人的に行きたい場合の約束事を徹底しています。
2	きょうだい向けのイベントの開催等により、きょうだい同士の交流の機会が設けられるなど、きょうだいへの支援がされていないとの評価が多いです。	今年は家族参加型のイベントを夏に2回行いました。夏祭りや映画館を貸し切り行った映画観賞会です。ただ、同じ時期に行ったため、周知がうまくいかなかったのだと思います。	次年度は時期をずらし、夏に映画観賞会、秋に秋祭り、そして春に保護者会、親子交流会を行います。
3	父母の会や保護者会が行われていません。	毎年3月20日に保護者会、発表会を行っており、アンケートをお願いする時以降の開催になってしまいます。	契約時やモニタリングの時に保護者会について触れるようにし、年間を通して周知をするようにします。